

くまもと

議会だより

98号
2020.10.26



まさかここまで！

もくじ	6月定例会・第3回臨時会 ……………	2～5
	一般質問における発言の要旨一覧 ……………	6
	一般質問 ……………	7～15
	くまっこ・編集後記 ……………	16

「日本で最も美しい村」連合からの脱退を可決 一般会計補正予算を減額して修正可決

6月定例会は、6月8日から11日までの4日間で開催され、報告2件、議案26件、発議1件が上程され、特定非営利活動法人「日本で最も美しい村」連合からの脱退では、起立採決の結果、賛成6、反対3で原案可決し、令和2年度一般会計補正予算は減額して修正可決、その他の議案は、原案のとおり可決しました。

一般質問では、9人が登壇し、各種施策や行政課題について、執行部の考えを質しました。

初日の8日は、3月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会の報告を行いました。

続いて、令和元年度一般会計予算の継続費繰越計算書及び繰越明許費繰越計算書の報告、「日本で最も美しい村」連合からの脱退、分収造林契約の変更、工事請負契約の締結と変更をそれぞれ1件、財産の無償譲渡12件、条例制定及び条例の一部改正7件、令和2年度一般会計及び特別会計の補正予算3件の合計28議案が上程されました。

最終日には、議員発議で「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書」案を上程し、一般会計補正予算を修正可決した他は、原案のとおり可決しました。

【一般質問】

9日に犬童勝則議員、東純一議員、田代利一議員、多武義治

議員が、10日に板崎壽一議員、高澤康成議員、舟戸治生議員、嶽本孝司議員小川俊治議員の9名が登壇。

村長の所信表明と新型コロナウイルス感染症対策を中心としたほか、防災対策、住宅政策、学校教育、農業振興など多岐にわたって執行部の考えを質しました。

(詳細は6頁～15頁に掲載)

令和2年度一般会計 及び特別会計補正予 算を審議、一般会計 は修正可決

一般会計補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症への対応や感染拡大の影響を受けた村の経済、住民生活の支援等の事業費を始め、地球温暖化対策のための業務委託料、耕作放棄地対策で堆肥生産やエゴマ

等の栽培を実施する事業者への

補助金、新規就農者への奨励金、地域資源を活用した集落ツアーの商品化に向けたモニターツアー委託料と村観光ホームページの改修費、村道大無田線と村道相良橋城山線のカラー舗装等工事費、峯川河川整備工事費、総合防災マップを見直す委託料などでした。しかし、球磨村ふるさと振興公社経営支援補助金は、過大積算であるとの判断により、起立採決の結果、減額となり、最終的な補正額を2億3,582万7千円の追加とし、歳入歳出総額40億8,609万4千円としました。

国民健康保険特別会計の10万円を、介護保険特別会計の16万3千円をそれぞれ追加する補正予算は、原案のとおり可決しました。

【条例制定・一部改正】

①球磨村地域循環共生圏構築基金条例の制定

球磨村の振興・活性化及び温室効果ガスの排出削減を図るため、用途を限定して計画的に実施できるように基金を設置

②球磨村課設置条例の一部改正
「企画振興課」を「ふるさと創生課」に改正

③球磨村税条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症等に係る税の特例

④球磨村国民健康保険税条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した場合、国民健康保険税を条件付きで申請により減免

⑤球磨村後期高齢者医療に関する条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から傷病手当金を支給することによる所要の改正

⑥球磨村国民健康保険条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、臨時

の措置として、傷病手当金の支給に係る規定を追加

⑦球磨村介護保険条例の一部改正
所得の低い第1号被保険者の介護保険料の軽減強化

【財産関係】

財産の無償譲渡（12件）
定住促進を図る目的で造成整備した「渡一王子定住団地」で、賃貸借契約から15年以上を経過する12区画について、「貸し付け」契約を改め、土地を無償で譲渡

【契約関係】

①分収造林契約の変更
国立研究開発法人 森林研究・整備機構、球磨村森林組合と球磨村の三者で契約している分収造林契約の土地の表示を2筆から5筆に変更

②工事請負契約の変更
「神瀬地区防災広場整備工事」の契約金額を6,314万7,525円に変更

③工事請負契約の締結
「神瀬地区避難所建築工事」を1億6,445万円で味岡建設株式会社と請負契約を締結

6月定例会 議案等の審議結果

	議案番号	件名	結果
1	報告第3号	令和元年度球磨村一般会計予算継続費繰越計算書について	報告
2	報告第4号	令和元年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
3	議案第28号	特定非営利活動法人「日本で最も美しい村」連合からの脱退について 東 小川 高澤 舟戸 嶽本 田代 賛成：6名 板崎 犬童 松野 反対：3名	原案可決
4	議案第29号	分収造林契約の変更について	原案可決
5	議案第30号	工事請負契約の変更について	原案可決
6	議案第31号～42号	財産の無償譲渡について（12件）	原案可決
7	議案第43号	球磨村地域循環共生圏構築基金条例の制定について	原案可決
8	議案第44号	球磨村課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
9	議案第45号	球磨村税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
10	議案第46号	球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
11	議案第47号	球磨村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
12	議案第48号	球磨村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
13	議案第49号	球磨村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
14	議案第50号	令和2年度球磨村一般会計補正予算について 修正動議 板崎 東 犬童 高澤 舟戸 嶽本 田代 松野 賛成：8名 小川 反対：1名	修正可決
15	議案第51号	令和2年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
16	議案第52号	令和2年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
17	議案第53号	工事請負契約の締結について	原案可決
18	発議第1号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書の提出について	原案可決

一般会計補正予算審議（抜粋）

東純一議員：がけ地近接等危険住宅移転事業の内容と、チラシなどの配布はあったのか。

答え：危険箇所建っている住宅の除却と新築に要する経費の1戸分の上限となる補助金を計上している。県が作成したパンフレットを、土砂災害警戒区域の対象地区へ配布している。

犬童勝則議員：まち・ひと・しごと創生補助金の説明。

答え：耕作放棄地においてエゴマを栽培して、村の特産品とする取り組みへの補助金を予定している。

ふるさと振興公社経営支援補助金

高澤康成議員：新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受けて、休館した減収分を村として補填する必要があると思うが、6月以降の減収見込分を算定に入れてあるのはいかなるものか。

小川俊治議員：新型コロナウイルスがいつ収束するか分からない状況の中で、多額の支援をしたとしても、目的が果たせるのかは分からない。事業縮小か、閉館か、判断するものを議会の中で示していただくようお願いをしている。

板崎壽一議員：財源に一勝地交流センター活性化基金を充てられているが、基金の目的は活性化の推進であって、経費の財源に充てるのは疑問。

※ふるさと振興公社経営支援補助金を削除する修正動議を8名の連名で提出し、起立採決の結果、賛成8、反対1で補正予算の修正を可決。その補助金を除く部分の原案は異議なしで、可決しました。

第3回 臨時会

人事案件について、副村長は不同意、教育長は同意

会期を5月1日の1日間として開催され、報告1件、承認4件、工事請負契約の変更2件が令和2年度一般会計と簡易水道特別会計のそれぞれの補正予算、そして、副村長と教育長の人事案件が上程されました。

第3回臨時会は、3月の議員補欠選挙に伴い、議席指定と常任・特別委員を選任後、執行部からの議案が上程されました。

議案は、公用車の交通事故における和解及び損害賠償額の決定の報告、村長が地方自治法に基づき行った専決処分事項の承認で、条例2件と令和元年度一般会計及び特別会計それぞれの補正予算2件の計4件、工事請負契約の変更2件、骨格予算としていた令和2年度一般会計及び特別会計それぞれの補正予算2件、そして、副村長と教育長の人事案件が上程されました。

令和2年度一般会計及び特別会計補正予算を審議、可決

村長選挙に伴い骨格予算としていた令和2年度の予算に肉付けが行われました。一般会計補

正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策経費、移住相談会出張委託料、新規地域おこし協力隊1名分の経費や、道路工事は、村道において神瀬大岩線の永椎橋と丸岩橋の補修、渡大槻線の舗装修繕や法面対策、神瀬高沢線と大無田線の改良工事の継続と、新たに毎床越線の工事費、林道工事は、東俣線開設の継続と林業専用道池原線が計上されました。

子育て対策としては、村内在住の3歳から5歳児を対象とした副食費の無償化、18歳までの子ども医療費の無償化、小中学校の給食費の半額助成の経費を計上されており、ふるさと寄附事業の目標額は4千万円としてあり、10億333万8千円を追加されました。

簡易水道別会計補正予算の主なものは、神瀬水道組合統合に

係る届出設計業務委託、漏水調査業務委託、渡地区配水管更新工事などで、3,396万6千円を追加され、両議案とも原案のとおり可決しました。

【契約関係】

① 工事請負契約の変更

「球磨村デジタル防災行政無線（同包系）施設工事」の契約金額を5億6,749万3千に変更

② 工事請負契約の変更

「渡西地区避難所等整備工事」の契約金額を1億163万476円に変更

【人事関係】

① 副村長の選任同意

副村長人事が提案されましたが、適当な人選ではないとの意見などがあり、起立採決の結果、賛成1、反対8で原案不同意としました。

② 教育長任命の同意

教育長人事が提案され、全会一致で前渡小学校校長 森 佳寛氏の任命を同意しました。

第3回 臨時会議案等の審議結果

	議案番号	件 名	結 果
1	報 告 第 2 号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	報 告
2	承 認 第 1 号	専決処分事項報告承認について (球磨村税条例等の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
3	承 認 第 2 号	専決処分事項報告承認について (球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
4	承 認 第 3 号	専決処分事項報告承認について (令和元年度球磨村一般会計補正予算について)	原案承認
5	承 認 第 4 号	専決処分事項報告承認について (令和元年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について)	原案承認
6	議 案 第 24 号	工事請負契約の変更について	原案可決
7	議 案 第 25 号	工事請負契約の変更について	原案可決
8	議 案 第 26 号	令和2年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
9	議 案 第 27 号	令和2年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
10	同 意 第 8 号	球磨村副村長の選任同意について ----- 嶽本 賛成：1名 板崎 東 犬童 小川 高澤 舟戸 田代 松野 反対：8名	原案不同意
11	同 意 第 9 号	球磨村教育委員会教育長任命の同意について	原案同意

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
犬童勝則議員	① 公約の重点施策について ② 「さんがうら」のこれまでの実績と評価 ③ コロナウイルス対策	7
東純一議員	① 納税 ② 特別定額給付金 ③ 住宅政策 ④ 学校教育	8
田代利一議員	① 所信表明について ② 第2期球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略について	9
多武義治議員	① 新型コロナウイルス対策 ② 森林環境譲与税の配分額（令和元年度）と使い道 ③ 副村長の選任についての考え	10
板崎壽一議員	① 所信表明 ② 人口減少の歯止めは ③ 新型コロナウイルス対策 ④ 観光振興について ⑤ 教育について	11
高澤康成議員	① 村長の所信表明	12
舟戸治生議員	① 村づくり ・防災について	13
嶽本孝司議員	① コロナウイルス対策 ② 選挙投票の在り方 ③ 渡西地区避難所整備工事	14
小川俊治議員	① 農業振興 ② 今後の避難のあり方	15

議会傍聴にお越しく下さい。

（どなたでも傍聴できます。傍聴席 30 席）

6 月定例議会の傍聴人数は、延べ 31 人でした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を 1 つ空けて着席をお願いしました。

過疎化による 人口減少の歯止め策は

答 渡地区を中心に村有、村営住宅に限定せず、分譲地等も検討する

質問 選挙公約の所得の向上の説明を。

松谷村長 農業振興においては、農業に精通した職員の育成が不可欠であり、その職員を中心として、特産品の開発、ブランド化による販売の促進、地産地消などに取り組んでいく。

質問 スーパー公務員の育成が必要だという事だが、具体的な取り組み、職員の育成は。

松谷村長 今回、地域おこし協力隊を一人採用した。その人を中心に球磨村の農業を盛り上げていけばと考えている。

質問 どの町村でも抱える過疎化による人口減少の歯止め策は。

松谷村長 ニーズに応じた住民政策を推進していく。当面の間は、渡地区を中心に村有、村営住宅に限定せず、分譲地等も併せて検討

することで定住につなげていく。

質問 球磨村には四季折々、自然に囲まれ、球磨川、球泉洞、棚田、農業用水路など多くのすばらしい観光資源がある。まず村長自身が最初に組み組んでみたい、手を挙げてみたい観光資源は。

松谷村長 村長に就任して一番に思ったことは、くま川下りの復活で急流コースを再開したいという意欲はものすごくある。

質問 今年で10年目を迎える田舎の体験交流館「さんがうら」のこれまでの実績と評価は。

松谷村長 これまで地域住民の協力を頂きながら順調に事業を展開していると考えている。特にさんがうらの主要事業の一つである都市住民等との交流についても、様々な体験、イベント等を実施しており、リピーターも増えているよう

だ。移動販売による買物弱者対策や見守り活動も行っており、心よりどころとして一翼を担っている。

質問 指定管理も含めてさんがうらの役割と将来像について村長の考えは。

松谷村長 職員もやる気を持って働いておられるし、できるだけ早く指定管理を委託できるように、いろいろな事業に取り組んでいく。

質問 今回の新型コロナウイルス感染症に対する拡大防止の考えは。

松谷村長 村では、県内初の新型コロナウイルス感染者確認の報告を受け、球磨村感染症対策本部を設置し、5月末現在で合計9回の

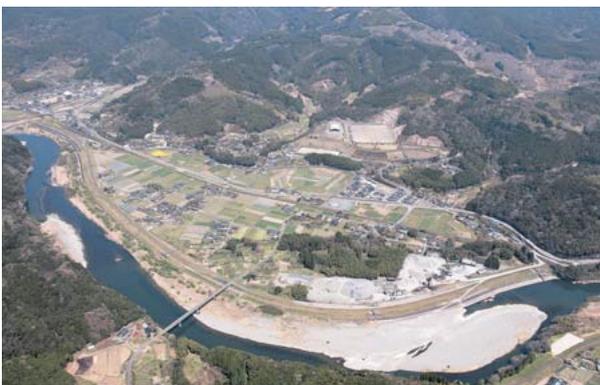
会議を開いている。

質問 臨時休校の長期化で、子どもたちにとって学習の遅れが深刻化していると思うが、学校が再開して、密度の濃い授業が続けば、授業についていけない子どもたちも出てくると思われるがその対応は。

教育長 授業時間の確保として、夏休みを約3週間短縮するよう考えている。学習の個人差解消については、臨時登校日に休み時間とか放課後の時間を使って補充学習に取り組んでいる。



犬童 勝則 議員



一王子団地

住宅政策の今後の

取組みと対応策は

答 ニーズの高い地域に分譲地を整備し、移住者の増加、転出者の抑制を講じ、人口減少に努めたい

質問 本年4月より改正された税金の納付方法の割合と、昨年と比較した取納率については。

境目税務課長 各税によって異なっているが、取納率の低下を懸念していたが、口座振替率も高い率になっていると思う。スムーズにできたのではないかと感じている。

質問 高齢者独居世帯も多い本村でもある。特別定額給付金、受取りまでの対応については。

松谷村長 申請困難者の対応については、申請補助を行い、対策で十分高齢者への対応もできると考えている。

質問 住宅政策について、現在入居しておられる方々の世代分布、平均的入居年数と、今後の政策取組み、対応策については。

今年4月より改正された税金の納付方法の割合と、昨年と比較した取納率については。



球磨中学校 登校風景



東 純一 議員

松谷村長 義務教育終了を待って転出される傾向がある。ニーズの高い地域に分譲地を整備し、移住者の増加、転出者の抑制を講じ、人口減少に努めたい。

質問 学校教育の現状として、今後の授業時間の確保、進め方、及び心の面でのサポート、ケアに

ついでへの対応は。

森教育長 長期臨時休業の課題は、まずは、授業時間の確保で、さらに、生活リズムが崩れてしまった子どもたちが見られる。子どもたちにアンケート調査を実施したが、非常に不安と心配事を抱えている。今後、そういう体力面、心の面をしつかり見守りながら進めていく。

質問 特別定額給付金については支給の期限が決められている。期間中、再度のお知らせ等考えておられるか。

山口総務課長 再度、広報等でも活用しながら、全ての方に給付されるようにしていきたい。

質問 定住促進対策を考えたとき、住宅の入居状況、流れの傾向が気になり質問をさせて頂いた。

松谷村長 住宅に関しては、分譲地を中心に進めてまいりたい。

村長は、当面の間は渡地区を中心に進めると述べられている。**質問** については多くの子育て世代の方々があり、元気な子どもたちの姿がある。反面、子どもの姿もなく、限界近い地域もかなり増えている。広い視野も必要ではないか。神瀬、一勝地、渡がある。中長期にらんだ計画性をしっかりと考え政策を進めていきたい。

松谷村長 限界集落といわれるような地域が増えていくのではという懸念はある。今のところ、具体策はないが、手をつけていかなければとの思いでいる。

渡地区中心の分譲地整備は

答 渡多目的集会施設他、駐車場として購入した横を交渉中

質問 公約の大きな柱として人口減少の歯止め・所得の向上はどのような施策を展開し、実現されるのか。

松谷村長 人口減少を抑制するためには自然増減より転入・転出に起因する社会増減のほうが高くみられるので、移住・定住の施策を考え移住希望が高い渡地区を中心に分譲地政策を検討している。

質問 渡地区中心の分譲地整備は具体的にどこを策定整備するのか。

松谷村長 渡小学校運動場横を多目的集会施設他、駐車場として購入しており堤防までの残りの土地は分譲地として交渉中である。

質問 渡地区の多目的集会施設



渡多目的集会施設の外観

他、災害時に駐車場不足での購入ではなかったのか。分譲地整備など昨年12月の議会では出てない。

高永企画振興課長 12月の定例議会において駐車場として答弁した。ただ駐車場としての用地は確保しつつ分譲地としての整備をしたいと考えている。

質問 一勝地の永崎団地周辺の農地を昨年取得し議会で認めた村営住宅等の整備はどうなったのか。

上部建設課長 前村長の時に取得し数十台駐車できる駐車場として計画をしている。

松谷村長 今年は小学校田として米を作ってもらっている。今後は中学校の運動会等の駐車場として整備したいと考えている。

質問 駐車場整備と併せて住宅整備としての活用は検討しているのか。

松谷村長 今のところ駐車場として整備をし、住宅・分譲としての需要があれば考える。現在渡地区を重点的に住宅として思っている。

質問 所得向上・農業の振興の対策は。

高永企画振興課長 昨年「一勝地」という地名を意匠登録・商標登録し、一勝地梨・一勝地赤豚・一勝地やまめなどネームバリューとしたブランド化など付加価値を高め所得向上に繋がらと考える。

質問 振興センターでの木炭の製造と現況は。

高永企画振興課長 木炭の製造は一人雇用で製造しているが高齢者であるため後継者を募っている。木炭も特産物として考えていく。

質問 所信表明の中で、地域の特性を無視した画一的な政策に変わったとはどういうことか。

松谷村長 住宅政策に関しては十数年前から神瀬と一勝地に整備されて渡は整備されていない。全体的に平等に村の予算を使い画一的にならない政策を考えている。



田代 利一 議員

副村長についての考えは

答 9月の定例会で提案したい

質問 新型コロナウイルスの村内への影響と、村の対応策は。

松谷村長 村内の事業所を訪問し、聞き取り調査を行った。特に観光業は深刻で、休業に追い込まれる事業所もあり、雇用を維持するため大変苦勞されている。また、住民の方が

ら、職場が倒産し生活が苦しいなどの話も聞いている。そこで、村として

国の臨時交付金を活用し、事業所や収入が減少した人に対し支援を行うことにしている。

質問 新型コロナウイルスの影響で、深刻なのが一勝地温泉「かわせみ」である。今回の補正予算に約3,000万円の支援策が計上されているが、仮に認められなかった時の対応は。

一勝地温泉「かわせみ」

高永企画振興課長 資金面でも7月まで待てない状況にあり、6月中には何らかの判断をしなければならぬと考えている。

質問 村有林を毎年10ヘクタール程全伐し、木材の売上を水資源基金に積み立てている。今回の影響で、住宅着



多武 義 治 議員

工戸数も減少傾向にあり、今後さらにさがることが予想される。今年の事業は見合わせる勇気も必要と思うが。

松谷村長 木材を搬出する経費よりも、木材価格が安い状況ならば見直す必要があると感じている。

質問 森林環境譲与税の村への交付額は、令和元年度が約2,000万円、令和6年度になると約6,000万円国から交付される予定である。この譲与税の使い道については、以前林野庁より民有林（個人所有）の間伐などの森林整備を基本に考えているとの説明があった。一方、税の徴収は令和6年度から森林環境税として、国

民から徴収される予定である。長年、関係者の努力により実現した制度であり、国民から批判されない使い道をするのが大切であると思うているが。

松谷村長 担当課と調整しながら取り組んでいきたい。

質問 5月の臨時会で、副村長の同意案件が不同意となった。今は、どのような考えか。

松谷村長 臨時会以降、いろいろ考えたが結論が出なかった。県からも、速やかに選任するよう指導を受けている。

質問 国の法律や村の条例では、副村長は置かなければならない。置かない場合は、その条例を制定する必要がある。本来であれば今回の定例会に示さなければならなかった。

松谷村長 提案できればよかったが、これから村のために一緒に頑張っていく人を決められなかった。9月の定例会には、提案できるようにしたい。



「これまでの村政に異を唱えて」の「異」とは

答

今後、村政に危機を感じた

質問 所信表明にて「これまでの村政に異を唱え」とあるが、「異」とは何か。

松谷村長 短期間の議会議員の活動の中で、「議員に託された村民の思いが村政に反映されない」とし、議案は可決されていくことに強い矛盾や今後の村政に危機感を感じたことだ。

質問 危機感を感じたとは何か。

松谷村長 前村政を継続する事、人口の減少に危機感を感じ人口減少を抑えることが危機感の解消であり私の仕事だと思ふ。

質問 渡地区中心に住宅政策を検討されているが定住へ繋げることが出来るのか。

松谷村長 村で一番生活しやすい所は渡地区と思ふし、転入しやすい場所が渡地区であり住宅整備していく考えであり平成16年に一王

子団地の分譲地造成にて、転入者が転出者を上回った年で定住に繋がっている。そういう可能性を感じ渡地区中心に考えている。

質問 村外からの転入者対策の取り組みと転入助成金等はないのか。

高永企画振興課長 転入助成金はないが空家バンクを利用され居住される場合は10万円の助成金があり現在九名の方が利用されている。

質問 空家バンクの制度と村民の理解は。

高永企画振興課長 平成27年度に空家の調査をし、登録が若干あふれている現状だが活用だけでなく国の特別措置の解体等を併せて二面性で事業推進していく考えである。

質問 新型コロナ独自支援の取り組みは。

高永企画振興課長

村の商工会商品券を五百万円分お願いをしている。

国の交付金も予定し全村民への平等配布も考えるが、プレミアム率を増やしてもらい商品券を買ってもらいたい。

質問 村内の観光資源の開拓とPRそして日本三大急流くま川の観光等の取り組みは。

松谷村長 球磨川下りの復活を考えているが条件が揃わず見送っている。

高永企画振興課長 「くまむら山村活性化協会」を設立し「球磨村七九



くまむら山村活性化協会

集落巡り」の冊子を作成し来客者等に配布しているが、村全世帯へも配布し村内から村外へのPRをしていく。

質問 長期の休校による不登校とか人権的な影響、新小中一年生への対応は。

森教育長 授業が再開され心配するのが新一年生で入学式直後に休校になり家庭学習を続け生活リズムが逆戻りした。今後子どもたちの様子を丁寧に観察・寄り添いながら無理をせず、学校生活を送り、不登校・差別・いじめ防止など、学校・家庭一体となって通常の学校生活のリズムに戻し小中合同で一緒に取り組んでいきたい。



板崎 壽一 議員

所信表明で

何を訴えたかったのか

答 人口減少を緩やかにするために何ができるか、過去の政策を検証し、政策に生かしていきたい

質問 村長が所信表明を述べられその中で、これまで球磨村発展のために尽力いただいた方々の功績に対し、いつしか地域の特性を無視した画一的な政策に変わり、その結果、人口減少に拍車がかかったと述べられた。その言葉を耳にし愕然とした。果たしてそうであったのか。所信表明で何を訴えたかったのか、また、掲げる重要政策の取組みについては。

質問 わせていただいた。

質問 人口減少は大きな問題であると思う。それぞれの答弁の中に、渡地区という表現をされている。歴代の村長中心にやって来た中で、人口減少の歯止め対策を打ち、渡、神瀬、一勝地と均衡ある発展の下、村営住宅を造って来られた。村長が言う渡地区分譲という話しかなかったのか、これはこれであっていた話である。これに異議を唱えるべきだったのか。表現の仕方が本当に正しかったのか。

質問 明にもなった。

質問 16年前、団地が造られ結果的に、中山間地区では核家族が進んだ。建設する過去に起きたメリット、デメリットを含め策を描いていかないといけない。中身についてどのようにやっていったのか。

質問 「かわせみ」今後の運営、あるいは最も美しい村連合の脱退。異を唱えたい考えであれば、それに代わる対策、施策があつて当然の話である。村長の考えが説明不足だと思つている。今後、議会との政策論争をしていただきたい。



高澤 康成 議員

質問 渡地区の取組み、一勝地、神瀬のビジョンは何か。

松谷村長 一勝地地区は、公共施設が集まった村の中心的役割があり、施設整備等行っていきたい。神瀬地区においては、森林組合を中心に、地域づくり、林業中心の地域づくりをしたい。

質問 「かわせみ」今後の運営、あるいは最も美しい村連合の脱退。異を唱えたい考えであれば、それに代わる対策、施策があつて当然の話である。村長の考えが説明不足だと思つている。今後、議会との政策論争をしていただきたい。

松谷村長 私の使命は、人口減少を緩やかにするために何ができるかを考えることであり、そのためにも過去の政策を検証し、これからの政策に生かしていきたい。私は、ここ10年ほどの政治判断を否定はしないが、この政策が果して将来を見据えて実施されたのか疑問に思っており、このようなことから画一的な政策という表現を使

松谷村長 三地区、サイクル的にそういう考えもあったかもしれないが、ただ、この異を唱えるというのは、私の感覚である。昨年、一勝地地区に住宅建設の予定もあつたが、そうしたとき、次へのステップがまた遅れてしまう。早く次の手を打たなければの考えで所信表

松谷村長 確かにそこは問題があると思う。取組みも併せ、バランスをとり進んでいけば一番よい。

質問 平均所得については非常に難しい難題であり、全体的な底上げが必要で、どう生産性を高められ所得、収入が上がっていくかであるが。

松谷村長 補助金ありきではなく、補助しながら育成し、自立をして

いたきたい。

補助しながら育成し、自立をして

補助しながら育成し、自立をして



一王子団地

災害対策についての考えは

答 地域の防災活動と災害に強い安心、安全な村づくりに努めていく

質問 球磨村にとって、防災、

災害への対応は最大の行政課題だと
思っている。熊本地震・過去の教訓
をどう生かすか、災害対策について
の考えは。

松谷村長 熊本地震で現れた自主
防災組織の重要性という教訓を今
後とも奨励し、地域の防災活動と
災害に強い安心、安全な村づくりに
努めていく。

質問 発災後、初動の重要性
の考えは。

山口総務課長 自衛隊との連携が
非常に重要になるが、被災状況の
把握とともに、派遣への要請が最も
急がれると考えている。

質問 球磨村における不測の
事態への対応力の考えは。

山口総務課長 国で実施される防
災危機管理等の研修会、県で実施

されている市町村国民保護消防防
災担当者会議等への職員を派遣、参
加を行っている。

質問 災害時における企業と
の連携についての考えは。

山口総務課長 被災した場合、応
急生活物資等の安定した供給を生
活協同組合熊本と協定を結んでい
る。

質問 渡、一勝地、神瀬、三ヶ
浦地区の災害の原因と予測、そし
て対応の考えは。

松谷村長 どの地域も全般的に土
砂災害に警戒する必要がある。対
応としては、村民自身が居住する
地区の災害特性を認識することが
重要である。

質問 国、県に対して要望は。

上部建設課長 国土交通省には、
球磨川の治水対策関係の要望を年

に数回、県関係には急傾斜関係、
治山関係の土砂災害に対して要望
している。

質問 県道高沢一勝地線と国道
219号線の交差点の改良工事の関
係機関への要望はされたのか。

上部建設課長 地権者との用地の
協議が整ったので、今年度用地買収
が行われ、工事が進められる予定で
ある。

質問 以前、総合運動公園の
避難路を保育園のほうから整備し
てはどうかと話があったが、私は賛

成だが、執行部の考えは。

山口総務課長 整備していけば有益
だと感じているが、ほかの避難路と
併せて、順次整備を図っていく。

質問 球磨川の河川堤防は内



球磨川排水ポンプ

水の排水ポンプも設置されたが私の
考えではまだ完璧ではないと考えて
いる。災害常習地域の安全対策は。
山口総務課長 今のところ現状ある
堤防をしっかり補強しながら、住民
には早めの避難でやっていただく。

質問 渡地区の浸水被害安全
対策は。

松谷村長 今現在できることは、で
きるだけ早めの避難をしていただき
命を守ってもらいたい。



舟戸 治生 議員

反対の理由は、火災ベルが連動しなければ安全性が担保できない

答 清流館と本庁舎は連動し、火災警報ベルは鳴る。申し訳ない。答弁を訂正する。

質問 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されたが、なぜ保育園は自粛ができないのか。

大岩住民福祉課長 仕事をされる子供を持つ親は、日中、仕事で家庭で放置しなければならぬ状況になる。家庭的にも家庭保育ができて困窮することから、自粛の要請はかかっていない。

質問 令和元年度分として、保育園に50万円の補助金が内示されたがその使途と、今後の支援策は。

大岩住民福祉課長 年度末までに納品ということもあり、早急に必要なものを支給し、3万円に収めた。令和元年度分を上限として申請可能であり、3園で9万円使用しているの残り141万円全部予算計上している。

質問 子育て支援を児童保育に変わる児童教育にできないのか。

高永企画振興課長 学校教育は文科省、保育園は厚生労働省であり非常に難しい。児童保育を行う保育園に国の助成金を活用して、一施設30万円の助成を計画し予算を上程している。

質問 次に、選挙の際、投票所まで移動手段の確保としてコミュニティバスの利用ができないのか。

松谷村長 投票日は通例日曜日としている。車両や運転手を増員して日曜日に臨時運行することは可能だが、運行時間やルートを考慮しないと特定地域のみの特遇措置となり、選挙の公平性に欠ける恐れがあるため、全地域をカバーして運行することは原則、現在の車両数では難しい。

質問 昨年の9月、渡西区避難所整備工事について議決され、工事は完了している。火災の際、火災ベルが清流館と本庁舎が連動しなければ安全性は担保できないとする理由から反対をした。電話による連絡で対応するとの答弁であるが。



議員 本 孝 司

山口総務課長 電話で連携、連絡を取ると答弁したが、その後、確認したところ、火災報知器は定期的に接続されており、清流館と役場庁舎は連携しており同時に発報、警報が鳴る。申し訳ない、答弁を訂正する。

質問 新築工事は建築確認申請書が出ないと工事着工ができないが、出ていないにもかかわらず、だれの判断で着工したのか。

上部建設課長 申し訳ない。担当課長の判断が大きい。基礎工事部分で特殊な工事にな



改修された清流館と防災センター

ることから、この機を逃したら2か月ほど遅れるとの経緯もあり、県の定期確認も取れるとの話から判断した。

質問 設計変更内容について、発注者の窓口としての建設課の主体性、主導権を持って、設計事務所、施工業者の上に立ち工事を進めるべきと思うが。

上部建設課長 指摘は真摯に受け止める。

渡地区の基盤整備についての 村長としての考えは

答 前向きに進めてもらいたい。
協力し、できることはしたい。



渡地区ほ場

高永企画振興課長 農地の9割が棚田であり集約化を図ることから、田畑等整備事業に

は上がっている。その要因は、集約化と機械の導入により生産性の向上が大きい。また農業においては、奨励作物の推進で作物の反別単価が上がっていることと分析している。

質問 機械化による生産性の向上は大きな要因となるが、農業における機械化の条件が村にはあるのか。

質問 農林業を基幹産業とした位置づけは。

が必要。基本計画の農業振興に基づいた施策を進めていく。

松谷村長 これからの農業を守って行くための村の果たす役割については、農業を行って行く上で厳しい環境、状況ではあるが、少しでも収入につないで耕作の維持ができること

質問 第一次産業の生産額は村全体の総生産額は減少しているが割合は若干ではあるが高いその理由は。

高永企画振興課長 第一次産業の就労人口は減少しているが、総生産額は上がっている。

質問 基本計画の中で公助として農地の集約化、集積化の項目があるが今後の考えは。

対して産業振興補助事業、獣害対策事業等の実施を行っているが生産性にかけ乏しい。

質問 基本計画の中で公助として農地の集約化、集積化の項目があるが今後の考えは。

犬童産業振興課長 農地基盤整備について、渡、毎床両地区で説明会、勉強会を実施している。県の基礎調査が平成30年度で渡地区、令和2年度に毎床地区が行われる。渡地区ではアンケート調査も実施、今後の耕作を考え、基盤整備は必要。

質問 渡地区の基盤整備については後継者、担い手不足が深刻化する中、最後のチャンスととらえている。村長の考えは。

松谷村長 前向きに進めてもらいたい。協力し、できることはしていきたい。

質問 次に新型コロナウイルス禍の中での避難の在り方について、3密避けるための考えは。

松谷村長 大規模な災害が予想される際、避難は真っ先に考えなければならぬ最も重要なこと。避難所だけでなく、安全性を考慮し親戚、知人宅も検討してもらいたい。

質問 安全性を考慮しながらも急傾斜地の多い本村で避難所が確保できるのか疑問。体育館、空き教室などの避難所の拡大の考えは。

山口総務課長 6つの指定避難所以外に地区公民館、学校、体育館、保育園等、改めて感染症に対応する指定緊急避難場所として考えている。

質問 避難所内の感染症対策は。

山口総務課長 国からの感染症対策対応地方創生臨時交付金で必要な資機材を購入する。



小川 俊治 議員

なかまの目標

渡小学校 6年 くまっこ

One for all. All for one. 目配り・気配り・心配りのできる6年生

- 自分の夢に向かって、努力ができる (夢に向かって)
- 進んで体を動かし、みんなのために頑張れる (元気で)
- よく考えて学習に取り組める (かしこく)
- お互いに認め、高めあえる (笑顔あふれる)



<クラスの自慢>

私たちは、男子5人、女子9人の14人のクラスは、明るくて元気いっぱいです。4月から最上級生として、低学年に優しく接しています。昼休みは、校庭で1年生と仲良く遊んだり、朝の「みどりの時間」でも、下級生に苗の植え方等を教えたりして、活動に励んでいます。私たちは、相手の立場に立って、相手のことを考えた言葉遣いや行動ができるように、日々努力しています。

小学校生活最後なので、楽しい思い出が作れるように、クラスみんなで協力して、頑張っていきたいです。
(6年 日當 美羽)

<担任の先生>

元気で明るい子供たちです。子供たちは、最上級生としての自覚を持って、行事や委員会活動に励んでいます。休み時間になると、下級生と仲良く運動場で遊ぶ姿が多く見られます。実践していく中で「6年生が動かないと、学校は動かない。」ことを実感しているようです。もっともっと自分達の良さを磨き「One for all. All for one.」で、渡小学校をリードして欲しいです。

(6学年	担任	上村	裕一)
(ひまわり学級1-2	担任	高島	真実)
(ひまわり学級3	担任	中岡	末弘)

編集後記

世界中に広がりを見せた新型コロナウイルス感染症。未だに終息する気配が見えませんが、その影響でイベントや会議の中止、学校や保育園も臨時休校と登園自粛が続きました。今回、医療の大切さ、そして農業の大切さを深く認識させられた機会でもありました。命に直結する問題を考えさせてくれた医療、食糧を供給し、暮らしを支えてくれた農業。

農業、農村、医療、助け合いの大切さなど、コロナの教訓はいくつもありました。でも、油断は禁物です。自分勝手過ぎれば、周りの人にも迷惑をかけます。思いやりの気持ちがあれば、第2波もきつと乗り越えられる気がします。

犬童 勝則

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	板崎 壽一